

N K O
 小野澤繁雄
 河村 郁子
 布宮 慈子

連日の溽暑にOS-1^{オイエスワン}抱き冷房蟄居の夏眠動物
 7月25日 K

雨マークゆ晴れマークとぞ変はりたる天気予報の七変化なり
 8月1日 N

花多く葉も片づいて夾竹桃夏校庭に木の花少な
 8月5日 O

隣家の夾竹桃の花を掃く真夏日続く朝の日課に
 8月14日 K

夏の間を薄紫に咲いてをり木槿といふは葵科の花
 8月18日 N

酔芙蓉いろのいくつか保たれてその家の庭の大方影は
 8月21日 O

酔芙蓉おほらかに咲き萎みたる友の一世のまぼろしもがも
 8月21日 K

大施食法要ありて懐かしき友と出会ひぬ寺の本堂
 8月25日 N

一どうという言葉その大人っぽさだい二十八かいそつえんじ一どう
 8月25日 O

菩提寺の定例施餓鬼法要に卒塔婆四本収むる役目
 9月1日 K

秋めいてくれば思ひぬ仏壇に秋明菊を飾りし母を
 9月14日 N

いつもなら花みるところバス停に秋の実成りて柿に柚子の実
 9月16日 O

ようやつと彼岸中日秋もやう葡萄ピオーネ仏壇に鎮座
 9月24日 K

やうやくに落ち着いてきて秋の陽をトンボと蛙とともに浴びたり
 10月5日 N

鉢花が同じ花なるつながりは隣家つながりそのあるなし
 10月8日 O

朝方の冷氣に寒露と思へどもきのふの猛暑がふいになつかし
 10月9日 K

雪多き大井沢さへ暖かく木の子の育ちも今ひとつなり
 10月18日 N

一晚で寒くもなつてそのその朝冷^{あしたつめ}たばかりの自販機に一つ
 10月21日 O

昼下がりの銀座通りを吹き抜ける木枯らし一号ヒジャブを捲る
 11月9日 K